

【演題名】 ソフトコンタクトレンズ種類別によるマイボーム腺の形態と機能に与える影響の検討

福岡 詩麻（大宮はまだ眼科），有田玲子（伊藤医院，東京大，慶應大）

【結論】 SCL の種類や装用パターンは，マイボーム腺の形態や LLT，瞬目パターンに影響しなかった。CL 装用は油層にとって特殊な環境である可能性が高く，油層進展速度や油層の動きなどさらなる解析が必要と考えられた。

【目的】 ソフトコンタクトレンズ(SCL)装用はマイボーム腺形態に影響すると知られているが，SCL の種類が形態や機能に影響するかは未知の部分が多い。今回，SCL 装用者におけるマイボーム腺形態及び機能を比較検討した。

【対象と方法】 SCL 装用者 24 例 24 眼(男 10 例，女 14 例)，年齢 19~53 歳(34.6 ± 7.7 歳)を毎日交換型 SCL(1D)群と 2 週間頻回交換型 SCL(2wks)群，FDA 分類グループ I 群と IV 群とにわけた。LipiView[®]で涙液油層厚(LLT)，不完全瞬目割合(PB)、非侵襲的マイボラフィー(DC-4[®])でマイボスコア，マイバムスコア，瞼縁所見，角結膜上皮障害，各涙液パラメーターを評価した。

【結果】 マイボスコアは 1D 群と 2wks 群 2.38 ± 0.96 ， 2.00 ± 0.94 ($p=0.29$)，また I 群と IV 群間 2.13 ± 0.83 ， 2.33 ± 1.15 ($p=0.97$)でも有意差がなかった。マイバムスコアと plugging は 1D 群 0.57 ± 0.64 ， 0.5 ± 0.5 の方が 2wks 群 0.10 ± 0.32 ， 0.1 ± 0.3 より有意に多かった($p=0.047$ ， $p=0.049$)。SCL 装用中の LLT(1D 群，2wks 群($p=0.93$)，I 群，IV 群($p=0.59$))と PB(1D 群，2wks 群($p=0.10$)，I 群，IV 群($p=0.47$))は，両群間で差がなかった。LLT に有意差はなかったが，SCL 上では油層進展の速度や動きに眼表面とは異なるパターンが見られた。

【結論】 SCL の種類は，マイボーム腺形態や LLT，瞬目パターンに影響しなかった。SCL 上は眼表面とは涙液進展状況が異なり、油層進展速度や動きなどさらなる解析が必要と考えられた。